

開館 60 周年

近代の洋画

ザ・ベスト・コレクション
The Best Collection: Modern Oil Painting

7月12日(火)より、後期展示が始まります。

神奈川県立近代美術館 鎌倉は、開館 60 周年を記念して「近代の洋画 ザ・ベスト・コレクション」を開催いたします。1951年11月の開館時に所蔵品のない美術館としてスタートした神奈川県立近代美術館は、60年の時を経て、10,000点あまりの所蔵作品を数えるまでになりました。ジャンルでいえば、その所蔵品は、油彩画だけではなく、日本画、彫刻、水彩・素描、さらには版画に至るまで多岐にわたっています。そうした中で、開館当初から現在に至るまで一貫して所蔵に努め、展覧会を通して研究に励んでいるのが、日本近代の洋画の分野です。この展覧会では、多くみなさまに日本近代洋画の豊饒なる世界を味わっていただけるよう、近代洋画の父ともいべき高橋由一の油彩画が描かれる明治から大正を経て、神奈川県立近代美術館が開館する昭和26年までの近代洋画の歴史を、当館の代表的な所蔵作品約80点を通して通観いたします。80年に及ぶ日本近代洋画のダイナミックな流れをぜひご堪能下さい。

後期展示では、戦時下にヒューマンイズムの絵画を追求した画家松本竣介や麻生三郎の代表作を特集展示いたします。

神奈川県立近代美術館 鎌倉

2011年4月9日(土) - 10月10日(月・祝)

前期 4月9日(土) - 7月10日(日)

後期 7月12日(火) - 10月10日(月・祝)

休館日:月曜日(ただし、7月18日、9月19日、10月10日は開館)

開館時間:午前9時30分 - 午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料:一般 700円(団体600円)、20歳未満・学生 550円

(団体450円)、65歳以上 350円、高校生 100円

※()内は20名以上の団体料金です

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です

※ファミリー・コミュニケーションの日:毎月第1日曜日(今回は5月1日、6月5日、7月3日、8月7日、9月4日、10月2日)

は、18歳未満のお子様連れのご家族(65歳以上の方を除く)は優待料金でご観覧いただけます。

主催:神奈川県立近代美術館

■学芸員によるギャラリートーク

当館の学芸員が、毎回ひとりの出品作家にスポットをあて、展示室にてトークを行います。

6月4日(土)高橋由一、6月11日(土)藤田嗣治

7月9日(土)梅原龍三郎、7月23日(土)松本竣介

8月20日(土)萬鉄五郎 9月10日(土)吉原治良

各回午後2時 - *申込不要、無料(ただし展覧会の観覧券が必要です)

■先生のための特別鑑賞の時間

9月17日(土) 午前10時 - 午後12時

対象:小・中・高・特別支援学校の教員・職員

*申込が必要です。詳しくはホームページをご覧ください。

■キュレーターズ・ツアー

鎌倉市楠木清方記念美術館・鎌倉市川喜多映画記念館・神奈川県立近代美術館 鎌倉、鎌倉国宝館のスタッフがツアーコンダクターとなり、各館で開催中の展覧会を解説します。

申込不要、無料(ただし展覧会の観覧券が必要です)

*詳しくはホームページをご覧ください。

■スタンプラリー

鎌倉市楠木清方記念美術館・鎌倉市川喜多映画記念館・神奈川県立近代美術館 鎌倉・鎌倉国宝館のうち3か所でスタンプを集めると素敵な景品がもらえます。

プレスリリース、及び展覧会情報は美術館ホームページでもご覧いただけます。<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

古賀春江《窓外の化粧》1930年



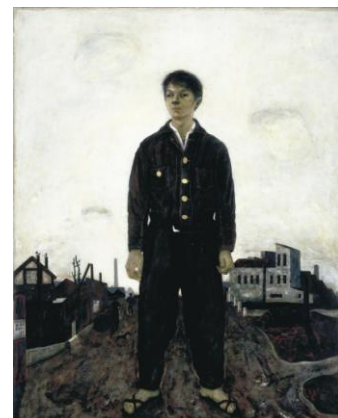
岸田劉生《野童女》1922年(寄託)



梅原龍三郎《熱海野島別荘》1933年



吉原治良《帆柱》1931年



松本竣介《立てる像》1942年



麻生三郎《女》1943年

お問合せ先:
神奈川県立近代美術館 鎌倉

tel.0467-22-5000

fax.0467-23-2464

〒248-0005

鎌倉市雪ノ下2-1-53

広報担当:山内舞子・長島彩音

展覧会担当:橋秀文・朝木由香